



Weekly

尾張旭
ロータリークラブ

集まろう・語ろう
楽しもう

・会長 古橋 裕志 ・幹事 仲澤 昌容 ・クラブ会報 福岡 健
・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8915
E-mail: jimu@owariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org

本 日 第2114回 2014年8月1日(金) No. 2000

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

卓話者: 谷口 伸夫 会員増強委員長

演 題: 「会員増強月間に因んで」

ロータリーソング「君が代」・「奉仕の理想」

前 回 第2113回 2014年7月26日(土) 記 録

前 回 第2112回 2014年7月18日(金) 記 録

【7月18日】

○斉 唱: 「奉仕の理想」

○来訪者: なし

○出席者: 会員25名中18名出席 出席率72.00%
前々回補正出席率 7月4日分100%

会長あいさつ 古橋 裕志

台風一過の翌日、朝から晴天になり、近くの神社にて蝉が一斉に鳴きだし、自然界の動植物達は季節に忠実だと思い自然に逆らわずけなげに生きています。

宇宙が始まって今日まで約137億年たちます。そして人類が初めて登場するのが約200万年前、それから人類は火を使い、蒸気機関を作り、電気を発明し、それ以降は、ロケット、原子力、宇宙飛行、試験管ベビー、クローン・ロボット等数限りない文明機器を作り出し、今現在私たちは多大な恩恵を蒙っています。

人の生命を長々存続させ、宇宙開発、原子力開発、人間は発明し、物を作って発展させる能力、技術そして何んでも生み出すこと事態大変素晴らしい生物です。しかし造る能力はあっても治める、收拾する、正常な状態に戻す脳力は乏しいではないかと思います。

チェルノブイリ、スリーマイル島、福島原発、特に福島への対応には人の限界をしめしているように感じられます。事故が起きると想定外という言葉

葉が多く聞かれますが、造った人たちは何を想定して何を基準にして安全という言葉が出てくるか不思議でなりません。人が人を収める事ができても、人が自然界を治める事はできないと思います。人はこの近年、自然界に逆らい、この地域を汚し、宇宙へ、旅立とうとしています。いずれには宇宙の漂流者、ホームレスになるかもしれません、また、ロボットが我々身近になり、これもいずれはSFの社会ではありませんが猿の惑星のようにロボットが人間を支配する時が来るかもしれません。人間の力は自然の力には到底およびません。もう一度あらゆる物事に対して、見直す必要があるのではないのでしょうか。

「螻蛄 蟬を捕う 黄雀 後に在り」

本日も有意義な良き1日でありますように。

幹事報告

・7/11 第3回OFDY委員会 古橋エツ子委員長以下8名出席。

・本日の会合: 第3回クラブ協議会

・次回の例会: 7/26(土) 夜間例会

・例会変更のお知らせ: 掲示板をご覧ください。

ニコボックス

○本日は最後のあいさつにお邪魔しました。よろしくお願いいたします。 唐井 仁一君

○唐井さん、大変お世話になりました。

ロータリー意識高揚月間

	8月 8日 (金)	8月15日 (金)	8月22日 (金)	8月29日 (金)
例会予定	卓話担当者: 江尻 豪君 卓話者: " " 演 題: 「自己紹介」	定款第6条第一節により休会	卓話担当者: 金森 俊輔君 卓話者: " " 演 題: 「小児医療と瀬戸旭医師会活動の現況について」	卓話担当者: プログラム委員会 卓話者: 尾張旭市職員 秘書課長 水野昌之武様 健康都市推進室長 鬼頭 純子様 演題: 「尾張旭市と福島県田村郡三春町との関わりについて」

古橋 裕志君、加藤 清久君
○唐井さん、お久しぶりです。歓迎します。

菊田 利昭君
○暑い日が続きます。お身体を大切に！ 唐井さん、お久しぶりです。是非飲み会には参加下さい。

桜井 雅博君
○唐井さん、長年尾張旭 R C のためにご尽力いただきましてありがとうございました。時々顔を見せて下さい。

西尾 輝久君
○唐井さん、お久しぶりです。今まで大変お世話になり、ありがとうございました。これからもちょうくちよく元気な顔を見せて下さい。

丹羽 敏行君
○唐井さん、お久しぶりです。これからも、時々お顔を見せて下さい。

古橋エツ子君
○唐井君の再入会をただ祈るのみです。ご苦労様！！

箕輪 良孝君
○唐井さん、お久しぶりです。今日まで色々ご指導いただきありがとうございました。また飲みにいきましょう。

森井 晴生君
○唐井さん、長年にわたり示してくれた貴君の友情に深く感謝し、これからの活躍を心から祈ります。本当にありがとうございました。

山田 直樹君
○国際奉仕委員長として卓話をいたします。よろしくお願いいたします。

山田 直樹君
○この暑さ、体の健康に注意しましょう！ 唐井さん、いままでありがとうございました。ニコボックスもありがとうございました。

江尻 豪君
○蒸し暑さ 梅雨明ければ 別の暑さ 古橋 裕志君
○入会時のスピーチをします。私が T O P バッターですのでもよろしくお願いいたします。

加藤 清久君
○古橋エツ子さん、お気遣いありがとうございました。

加藤 清久君

予算書にそって一年間活動を進めていく旨宣言がありました。

また、10名の新会員増強目標のお話がありました。

・箕輪良孝会員組織委員長

会員増強と新テキストを活用しての新会員研修会を行う旨、説明がありました。

・桜井雅博職業分類委員長

今年はより一層青年会議所（J C）との交流を深めていく旨説明がありました。

・福岡 健クラブ広報委員長

「広報あさひ」にロータリーの広告を載せるため、各委員会の活動の情報を広報委員会に報告するよう、依頼がありました。

・福岡 健職業奉仕委員長

会長に対し、ロータリー市民講座をどのように進めたらよいか、質問をされた。それに対し、会長より、11/30・1/25に予定をしているが、詳しい内容は会長、幹事、次期会長、幹事、職業奉仕委員長の5名で考えていく旨お話がありました。

・井田武憲社会奉仕委員長

計画書通り活動を進めていく。また、10月7、8、9日 三春町および三春 R C、松島 R C を表敬訪問する旨お話がありました。尾張旭市民祭に対しては、本年は「ハナミズキ」の苗木を400本提供するとお話がありました。

・菊田利昭青少年奉仕委員長

本年も例年通り活動を継続するとお話がありました

卓 話

本年度の事業計画について

国際奉仕委員会 委員長 山田 直樹



地元に住んでいる外国の方々と交流を図りたいと思います。来年2月の例会にて尾張旭在住の外国人のために「日本語教室会」会長の澤

田明美さんに来ていただき、来日前に日本に関しての、勉強をする機会に恵まれないので、日本社会で苦悩する外国の方々の実態を聞かせていただくことになりました。そして予定では、ウクライナから来日している方に語っていただき、ともに考えてみたいと思います。

社会奉仕（環境保全）委員会

委員長 井田 武憲

本年度の事業計画として、

1. 尾張旭市民祭に参画し、樹木の苗木（ハナミズキ）を提供（配布）する。

2. 東日本被災地支援事業を継続し、宮城県 松島 R C およ



び福島県 三春 R C を基幹として事業を進める。

第3回クラブ協議会報告

日 時 2014年7月18日（金）13:40～

場 所 尾張旭市商工会館内 第一会議室

議 題 1) 新年度にあたって

・古橋エツ子 O F D Y 委員長

今年の活動として例年通り、旭野高校、西中学校の音楽会の支援（地域活動連絡協議会のなわとびの横断幕、経営短期大学の紙芝居の支援等、実施する旨発表がありました）また奨学生の陳さんが病気治療のため、一時帰国すると説明がありました。

・西尾輝久（S・A・A）会場・出席委員長

クラブ奉仕委員会の人数が不足のため、例会運営に対し、親睦活動委員会、または会員の皆さまのご協力をいただきたいとお話がありました。

・森井晴生プログラム委員長

「ロータリアンとしての自己研鑽の学びの場」にふさわしい卓話の協力依頼がありました。

・加藤清久親睦活動委員長

クラブ計画書に発表したプログラム以外にも一年を通して、ロータリーらしい親睦活動をしていきたいと抱負をのべられました。

・江尻 豪ニコボックス委員長

ニコボックスへの協力依頼および、3名の新会員勧誘を目標とする旨、お話がありました。

・谷口伸夫財務委員長

3. 市内の諸行事やイベントに積極的に参画しながら後援・協賛していく。

以上3項目を掲げ実践していきたい。

会員増強委員会 委員長 谷口 伸夫



本年度1年間会員増強に努力したいと思います。8月卓話で各地区に分かれて頂いて、フォーラム形式の会を実施したいと思います。会員の増強が必要です。多くの会員の推

薦をお願いします。

広報・資料保存・雑誌・クラブ会報委員会

委員長 福岡 健



「広報」と「宣伝」とは意味が違うと思う。ややもすると「宣伝」的な発想と行動になり勝な感じがするが、ロータリーの「広報」としては、品格とプライドを持って出来る限

り、謙虚で間接的な広報活動が望まれると思うので地元メディアとの交流を密にして、広報活動を展開したいと考えています。



△退会あいさつの唐井仁一君



△大変お世話になりました。

2014-15年度地区研修・協議会のための 指導者会議質問回答

第2分科会 クラブ奉仕部門

質問

先ほど、石川勝彦委員長と光岡次期副委員長、会員増強の方でお話は頂いたんですけど、世界のRIだいたい122万くらいで、ずっとここ10年くらい平行移動しているんですね。で、2760地区は多いときは6,000名を超えていたんです。今は4,866人ということで、減少に歯止めがかからない。この全体に人口が減って行って就労人口が減っていく中で、そのどうやって新しい会員を選んでいくかというところがみそだと思うんですね。具体論が無い。どうやっていくか、ここが一番、会員増強の一番問題な所で、そのへんをちょっとアドバイスを頂けるとありがたい。

回答

大変核心をついたですね、鋭い質問をしていただいたんですが、正直言ってこれだという答えはないと思うんですよ。まあ答えというのは先ほど皆さん方がご案内あったように、やはり私が反省を込めて申し上げ

ましたけども、あまりにもですね、やっぱり会員増強委員会という委員会に入るとですね、増強だ増強だといってなんでも増やすということになっちゃうんですけども、やっぱりただ数を増やすというのではなくて、やはり一業種一人というような原則に基づいたとか、やはり質のいい会員が入ってくればですね、先ほど入会と退会の人数の話も、光岡さんから話がありましたけれども、やはりきちとした方をやっぱり選別せずにむやみに拡大をしているという部分もあるかと思うますので、そういうことも含めてですね、一つずつ課題を解決していかないと、特効薬は無いと思うんですね。やっぱり漢方薬でいくしかないのかなという気がしておりますけれども。

質問

ロータリーの創設から110年と言われましたけれども環境ががらっと変わっているわけですね。そこで今ロータリーが選ぶか、ロータリーを選ぶのか。で、ロータリークラブってどんな所って聞かれるとライオンズみたいな所っていうわけですね。でまあアイサーブ、ウィーサーブっていう問題があるんですけど、例えばポリオプラスにしてもビルゲイツが財団からまあ1億ドルですかね、寄付されて最終的に2億5千万ドルですか、えーこれもうウィーサーブですよ。はっきり言って、アイサーブじゃないと思う。その辺を地区としてどう考えてみえるか、その辺をちょっとお聞きしたい。

回答

お答えにならないかも知れませんが、僕もよく聞かれるんですね。ロータリーとライオンズってどう違うの？って聞かれる。実はぜんぜん知らなかったんですね。ロータリーが最初に出来て、それからライオンズができたって、まあ当然ご存知でしょうけども、おそらくあのロータリーのメンバー、ライオンズのメンバー自身がですねその辺のいきさつからまず知らないという現状があります。で、まあそういうことをやっぱり我々も勉強していったり、あるいは拡大というどうしても数だけを追いかけてしまうわけですけども、最初4人から始まったわけですから、それから言えばずっとこう拡大しているわけですから、もう少し長期的な視野に立ってですね、やはりロータリーの活動はそれぞれの地域で活動が続けていく事のほうが大切なことであって、50人より100人がいいという事はないと思うんですね。まあ少ないよりは多いがいいという事は誰しもが分かるわけですけども、その辺はやはりもう一度ちょっと我々自身もですね、考え直さないと入会した人がですね、退会していつてしまうということで、逆に退会した人はどうしてもマイナスのPRをしてしまうという傾向にあるやに聞いてますのでそういう努力をしていきたいという事と、数の問題だけで申し上げますと世界的にはたしかにそういう傾向にあると思いますけれども、日本経済が先ほどの会員数の減少のグラフじゃないですけども、やはりバブルが崩壊してからこう減ってきてるんですね。これは日本の社会的な構造自身がやっぱりあの変わってきているというか、景気どうこうということだけじゃなくてですね、企業の数全体もどうも減ってきているようですし、我々のクラブの動向を見ておりましたもどういふ部分で減つとるのかなというのを分析すると、支店企業、どこどこ支店長という形で入ってき、支店が無くなっちゃった。ですから入る人がいなくなっちゃった、そういうような傾向があります。ですからそれを拡大するというのはある意味では無理な部分です。という風に理解をしております。まあ楽観的な見方をしますと、

他の奉仕団体と比べてロータリーってさすが根強いなというのが率直な僕の感想でしてお答えになりませんが、別に否定はしているつもりはございませんので前向きに取り組んでいきたいと思っておりますのでご理解頂きたいと思っております。以上です。

ご意見

実はですね、うちのRCも非常に、一番多いときは222人位いましたけれども減ってんですけどね、減ったというのは、まあ当然高齢者は辞めますから減るんですが、つまり若い人達が入ってこないからなんですね。で若い人達がなぜ入ってこないかということですね、まあ会費の高い割に魅力がないという事なんですね。たしかに私はねロータリーは会費が高いんですよ。皆さんいくら位お払いになっているか知りませんがね、名古屋クラブは30なん万になるのかな…年間で。ですからね、相当高い会費のクラブですね。私はねそれをね、考えないとなかなか若い人は入ってこない。若い人は非常に割り切ってますからね、会費の割につまらん会だと、こういうことなんですよ。ですから私はどうして会費を下げるかということをおね研究する必要がありますという風に思う。でひとつはねRIにお金を出してるからなんですよ。で、RIというのが日本のクラブにどのくらい価値があるのかということはおね非常に問題があります。で皆さんご承知だと思いますけれどもイギリスはね独立してるんですよ。で、私は影ながら独立説なんですね。しかしね、偉い方達がですねRI元理事ですからね、RIと非常に近いもんですからねなかなか賛成してくれないんですけどね、私は日本独立説ですからね皆さん一回よくお考えになって頂いて2760地区がね独立したらどうかという事でございます。

夜間例会

於料理旅館 わたなべ

○斉 唱：「奉仕の理想」

○来訪者：瀬戸RC 牧 治君他16名

○出席者：会員25名中11名出席 出席率44.00%
前々回補正出席率 7月11日分92.00%

会長あいさつ

古橋 裕志



本年度初の夜間例会です。皆さま方多に飲んで、食べて一年間よろしくお付き合い願います。

今の若い人たちは「さとり世代」と呼ばれ消費しない、上昇志向がない、物事、

恋愛に淡泊そんな消極的な性格をさとりをひらいた僧にたとえた表現です。これは昨年の流行語大賞にもノミネートされました。

以前は会社の上司とか同僚たちで、宴会を始めますと一つの鍋をつつき合いながら食べて飲んで人間関係の和を保っていましたが、今は一人鍋が多く隣の料理に箸を伸ばすこと事態が憚られる時代です。そして乾杯の時は必ずビールがお決まりでしたが、今の人たちはとりあえずビールでは通用しません。ある先輩がまづはビールで乾杯と飲み物を注文すると一部の若い人が「どうして他人に飲み物を勝手に決められるのですか」と言われ場が白けたという話を聞きましたが、彼らには時間がかかっても好きな物を注文するのが若い人たちのやり方だそうです。

時代は飲み会も食事会も確実に次世代へと変化しております。

「 酔翁の意は酒にあらず 和の間に在る也 」

幹事報告

- ・7/18 第3回クラブ協議会 於商工会館 古橋裕志会長以下15名出席。
- ・7/25 地区会員増強セミナー 於 名古屋国際センター 古橋裕志会長出席。
- ・次回の会合：第22回地区研修・協議会実行委員会 第4回理事役員会
- ・例会変更のお知らせ：別紙をご覧ください。

親睦活動委員長

加藤 清久

夜間例会を名古屋千種の「わたなべ」で開催しました。本年最高の気温で、皆さん、暑い暑い連発でしたが、会場は、落ち着いた老舗料理旅館で、なかなか雰囲気が始まりました。

例会を終え、飯田パスト会長の乾杯の挨拶から、箕輪直前会長の締めの挨拶まで、お料理をいただきながら、大いに飲み、団欒致しました。

当日の会場は結婚の披露宴、法要のお食事等、人生の節目が重なる行事と同時並行でしたが、さすがは老舗、いささかの乱れもなく本会を進めることができました。

感謝申し上げると共に、また、何かの折には使用させていただこうと思った次第です。

さて、古橋年度、本例会を過ぎて、いよいよ本格稼働、親睦、さらなるエンジンをふかして頑張っていく所存です。



美味しい料理とお酒を堪能しました。

